

2025 年 11 月 04 日 (火)【外為 L a b】松田哲

タイトル:【お金って何だろう？(通貨の機能)】

『お金って何だろう？』と、考えたことがありますか？

「お金(通貨)」には、いくつかの機能があります。

まずは、お金(通貨)の決済機能です。

何かのものを買うときに、対価として支払うものがお金(通貨)です。

このお金の働き(効果・機能)を、「決済機能」とか「交換機能」といいます。

+++++

ここで「対価」を考えてみましょう。

「対価」をたくさん支払うということは、その買ったものの値段が高い、ということです。

つまり、その買ったものの価値が高いことを意味します。

「対価」が小額の場合は、その買ったものの値段が安い、つまり、価値が低いことを意味しています。

+++++

「お金(通貨)」は、「もの」や「サービス」の価値を表示しています。

これを「お金(通貨)の表示機能」といいます。

+++++

「お金(通貨)」には、もうひとつ、重要な役割があります。

それは価値を保存することです。

蓄えて、取っておく働きです。

+++++

銀行や郵便局に預けておけば、その 100 万円は、1 年後でも 2 年後でも、100 万円として戻ってきます。

日本が超低金利政策を採って長い期間が経っていますから、預けておけば利子が付きますとは、言いにくいのですが、通常は「お金（通貨）」を元本保証の金融商品に預けた場合は、元本の価値を保存して、利息が貰えることになります。

こういった「お金（通貨）」の働きを、「保存機能」とか「ストック機能」と呼びます。

+++++

余談を加えておきましょう。「ハイパー・インフレ状態」の場合です。

「ハイパー・インフレ状態」のときは、預けていたお金（通貨）の価値は、インフレ率以上の金利が付かなければ、元利を合計しても、実質的価値は目減り（減少）していることになります。

しかし、それでも、表面上（額面上）は、預けていたお金（通貨）の 100 万円は、100 万円として戻ってきます。

こういった実質的価値の変化は、「インフレの問題（テーマ）」であって、「通貨の保存機能」の問題ではありません。

しかしながら、こういった事柄は、切っても切り離せない部分がありますから、一緒に考えるべき、とも言えます。

気を付けるべき点は、「インフレの問題（テーマ）」と「通貨の保存機能」を混同してはいけない、ということです。

+++++
+++++

インフレは、通貨価値の下落を意味します。

通貨価値が下落して、相対的に物品の値段が上昇します。

直近のマーケット（金融市場など）では、インフレが重要な要素（要因）になっている、と考えます。

株価の上昇や、金価格（ゴールド価格）の上昇は、インフレを示しているのだ、と考えます。

+++++

（2025 年 11 月 04 日東京時間 11：45 記述）